



2種類の群馬県産ブランドねぎをPR 大田市場で「上州ねぎ」試食宣伝会を開催！

群馬県産上州ねぎ試食宣伝会

- 期日：11月29日(木)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：JA碓氷安中・JA全農ぐんま
- 内容：上州ねぎと下仁田ねぎのPR及び試食宣伝会

■ 大田市場で上州ねぎと下仁田ねぎをPR！

JA 碓氷安中と JA 全農ぐんまの職員が来場して上州ねぎ試食宣伝会を開催しました。会場には、今年度群馬県から出荷が始まった上州ねぎと下仁田ねぎが展示され、上州ねぎのソテーやグラタン、下仁田ねぎのかき揚げやスープ煮など様々なレシピとそれぞれの特徴を記載したパンフレットが配布され、寒さにあたってより甘みが増す群馬県産ブランドねぎを市場関係者に PR しました。

JA 全農ぐんまの H29 年青果物取扱実績によると上州ねぎは群馬県から 600t を越える出荷があり、JA 碓氷安中がダントツで1位(占有率 57%)、同じく下仁田ねぎは 900t 弱の出荷があり、JA 甘楽富岡が1位(占有率 39%)となっています。

■ 上州ねぎの試食品大好評！

群馬県のからっ風にさらされて甘みが増す冬季限定ねぎ上州ねぎは、トキタ種苗(株)が育成した下仁田ねぎと根深一本ねぎの F1 品種「なべちゃん葱」を使用しており、本県 5 JA(前橋市、高崎市、多野藤岡、甘楽富岡、碓氷安中)から JA 全農ぐんまより共計販売されています。上州ねぎは、下仁田ねぎの味と柔らかさを維持しつつ下仁田ねぎより軟白部が長く病害虫に強いいため、栽培しやすく味や食味も優れており、群馬県での栽培面積は増加傾向とのことです。

当日は、上州ねぎを使用した味噌汁と中華風スープの2品目が試食提供されました。上州ねぎは下仁田ねぎと同様に、熱を加えることで甘くてとろけるような食感になる特徴があります。試食会場には長蛇の列ができ、「ねぎが甘い」、「上州ねぎは初めて聞いたけど美味しい」と大好評で、20分もかからずに用意した300食分の配布は終了しました。

JA 碓氷安中の佐藤係長は「今年の当管内は夏期の高温干ばつ、その後の連続した曇天降雨と厳しい天候条件が続き、土上げ等の管理作業も計画どおりに行えず、肥大はやや鈍く全体的には細物割合が多い状況でした。さらに干ばつが続き肥培管理等には大変苦労していますが、生産者の技術力の高さで全体的な作柄は良好で、作付面積は増加傾向なので前年を越える出荷量を見込んでいます。」とコメントしていました。



上州ねぎと下仁田ねぎの展示



それぞれのリーフレットで特徴をPR



試食提供の様子



大盛況の試食宣伝会場